
新内閣医療政策 技術アプローチ

予防医学

次世代PACS

電子カルテ

最先端医療情報IT化（案）

お勧め商品：

ViewSend(株)が提供する
読影支援システム、遠隔医療支援機能付PAC

進めポイント：

米国で開発され軍隊などで使用されてきたもの

医療情報の交換に関してははるかに進んだ米国で開発されているため、遠隔医療用としては日本のものより良いと考えています。

グループ施設のフィルムレス化が低コストで実施

世界的著名なドクターの活用(国際先進医療)

期待する効果：

IT化により診療効率がよくなり、患者数増加、モダリティ稼働率増加が期待されます。

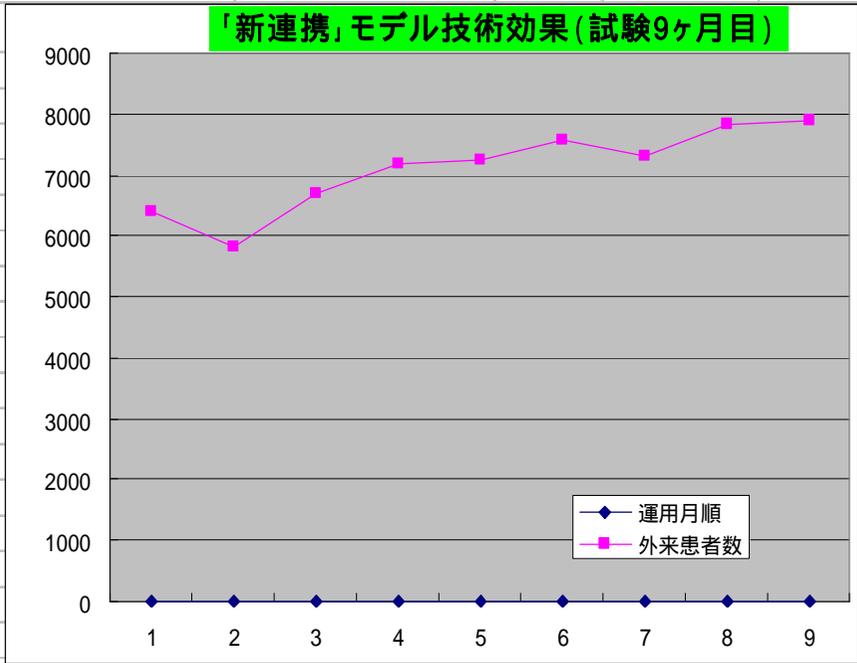
モデル施設では、導入9ヶ月で、月間外来約1,500名も増加しているにもかかわらず、院内患者並んでいる時間が大幅短縮しています。

国立病院機構にも採用されている読影支援システム

国内200事例以上、アメリカを含む世界的に400以上の運用実績あります。

次世代PACS導入効果例 (モデル施設)

モデルA病院 (194床)		月増加	平均一日増加	導入効果:
導入月	外来人数	1,510	62.9	1,500万円/月以上増収
1	6,400			
2	5,830			
3	6,680			
4	7,170	システムをなれることにより、診療の効率化が進み、患者増加に繋がっています。		外来患者増加したにもかかわらず、院内患者待時間短縮できました。
5	7,260			
6	7,580			
7	7,320			
8	7,820			
9	7,910			



ViewSend株式会社について

沿革

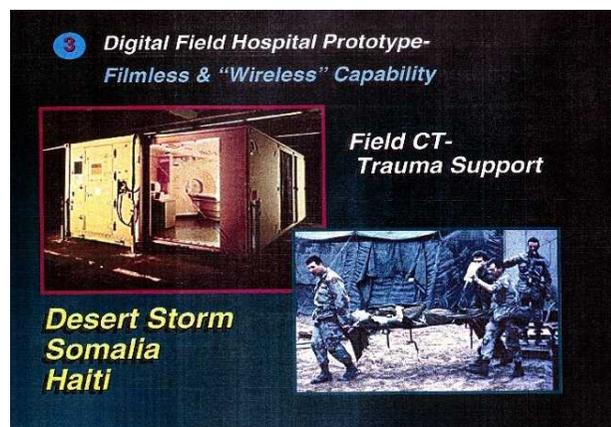
2004年2月 ViewSend設立

2004年7月 米国 KLT TELECOM 社をM&A、遠隔医療ビジネスを本格参入

2006年12月現在、資本金2.92億円、ViewSend技術を熟知している技術者が東京、米国バージニア、中国上海に分布

事業内容：
遠隔医療支援システムの開発・製造・販売
遠隔医療支援機能付PACSの開発・製造・販売

災害時



院内PACS



遠隔医療支援機能



許認可

テレメディシンにおけるFDA第1号認可 (1996.10) FDA承認番号: k051586

厚生労働省より高度管理医療機器として認可(2005.09) 医療機器承認番号: 21700BZZ00385000

経済産業省関東経済産業局より「新連携」コア企業として認定

「次世代PACSの開発及び事業化 - 遠隔医療支援機能付PACSの事業化 - 」

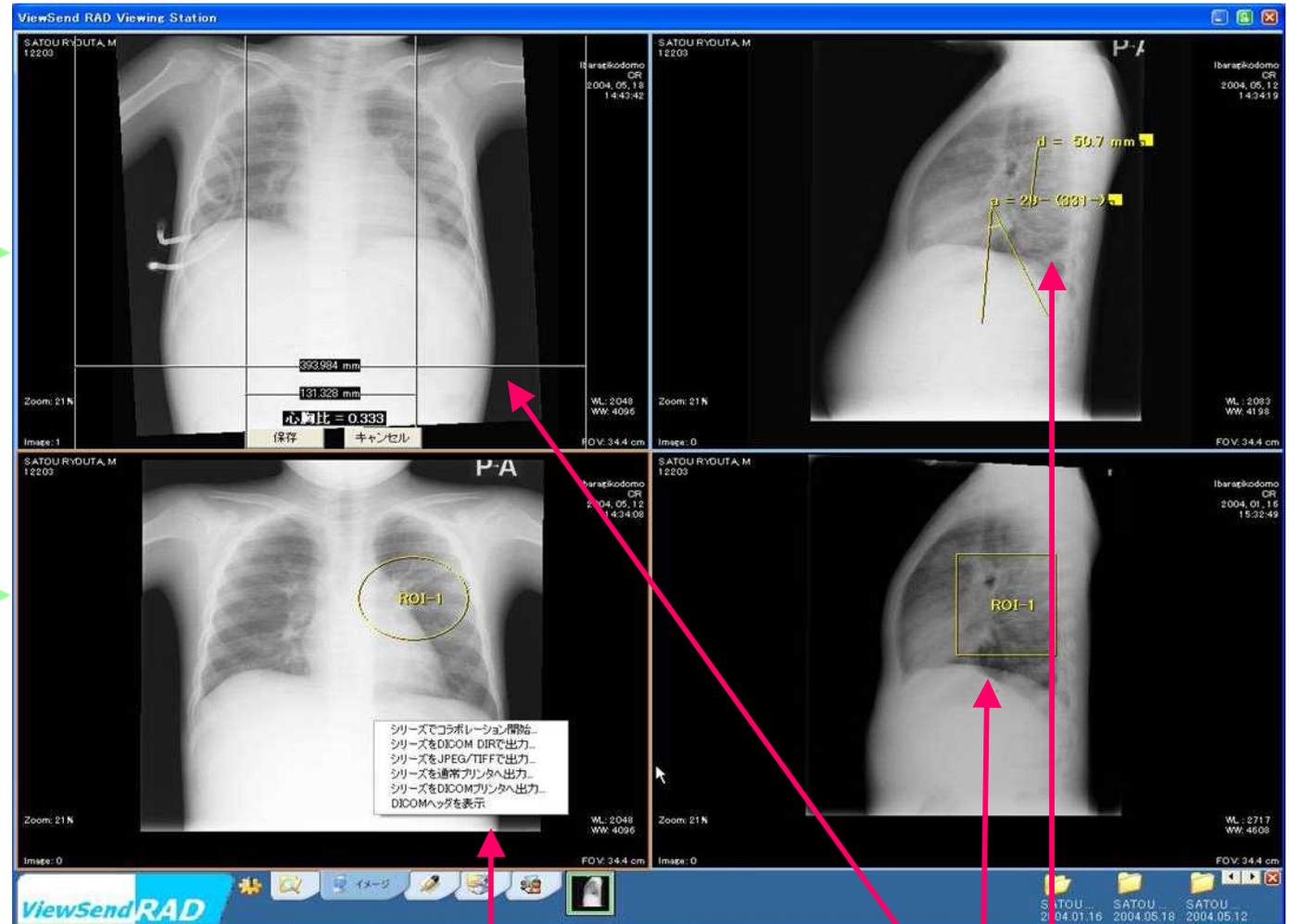
技術紹介

院内PACS： 高速でDICOM原画像表示、診療効率向上に適した診療機能

診療の効率化、インフォームドコンセントを実施しやすい機能例

過去と現在シリーズとの比較表示

診療の迅速化



テレビ会議開始指示
DICOM Dir出力指示
他形式出力、プリンタ指示など

長さ、角度、心胸比計測
面積測定や患部指定など、
読影用ツールが簡単に使える

技術紹介

次世代PACS -遠隔医療支援機能付PACS- の可能性

